

七飯町の将来について

～私たちは、どうやって世界に輝くのか～

七飯町立大沼岳陽学校 児童生徒会
前会長 高島研典
前副会長 宮本正太郎

目次

1. 私たちの目標
2. 私たちの課題
3. 理想の七飯
4. 町内の中学生の交流
5. ネットワークの確立
6. 世界とのつながり
7. 大沼公園
8. 大沼の良さを発信

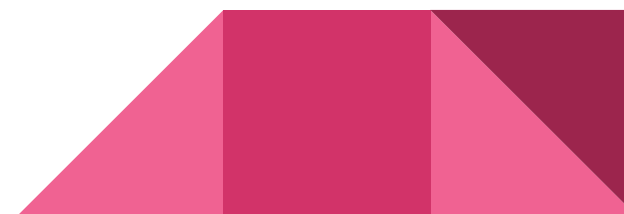


1. 私たちの目標

大沼岳陽学校の校訓

世界に輝け！

世界に目を向け！世界を受け入れ！世界をリードする！



2. 私たちの課題

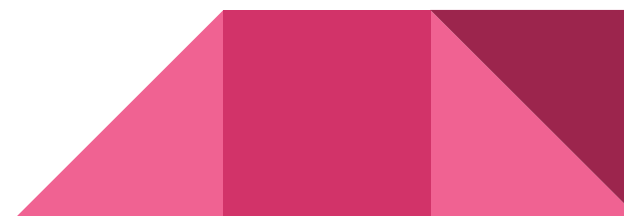
世界に輝く機会が少ない

世界に目を向け、世界を受け入れ、世界をリードする、機会が少ない

世界とは、必ずしも外国ではない。

町内のほかの地区、町外、ほかの年齢層も「世界」と考えられる。

もちろん、外国や異文化を持つ方も「世界」



3.理想の七飯

世界に輝く機会を作るために

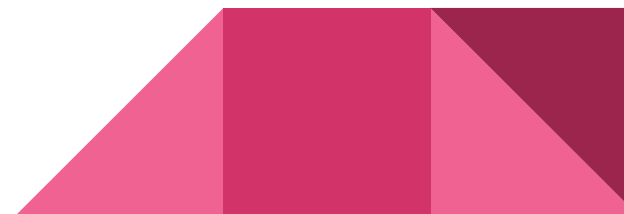
交流の機会を増やす

町内の中学生、高校生と

より幅広い年齢層の大人と

世界の人たちと

※新型コロナウイルス感染症の影響を、考慮していません。



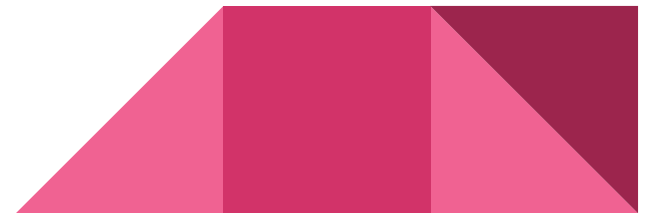
4.町内の中学生の交流

理想

町内の施設にみんなで集まって、意見を交流する場があってもよい。



町内の中学生が「知」を共有するコモンセンスの実現



大中山中学校、七飯中学校、岳陽学校のそれぞれの学校行事への参加

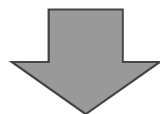


理想的だが、時間的課題、距離的課題、準備の課題を考えると、実現可能性が低い。

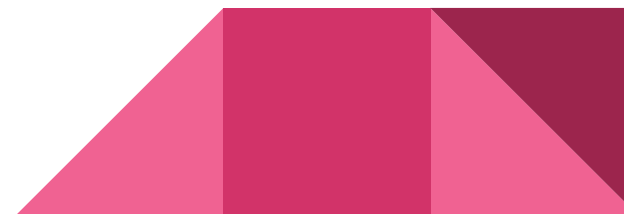


5. ネットワークの確立

役場、町内の各中学校、高校の生徒会とで、ネットワークを確立し、選ばれた人たちが、集まり交流する機会を作る。



何度も交流や話し合いを重ね、七飯町についてよりよい施策や、その実現可能性について、語り合う。

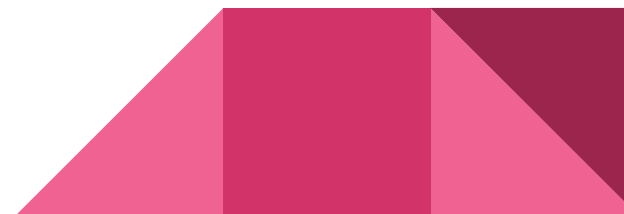


6.世界とのつながり

- ・ 英語検定などの無償化
- ・ 地域人材・ALT・JICA

言葉は英語に限らず、たくさんの国の人が集まってほしい
希望する人が、自由に外国語を使って、交流する場

交換留学や語学留学のシステムがあると、より理想的



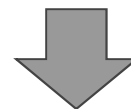
7.大沼湖の水質を改善

湖畔の木を伐採し、よく見えるようにする。

▷・自然が守られる ・水質が良くなる。

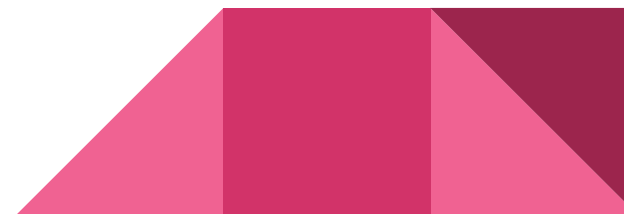


観光客が増える。



町が潤う。（七飯町の観光収入に占める大沼の役割は大きい）

遊歩道の安全管理



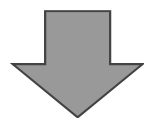
大沼はこのままではいけないということは確かなこと。

最終的な目標

- ・ 景観をよくする
 - ・ 水質を改善させる
- ・ 腐敗した木の除去
 - ・ 湖畔の木を伐採
 - ・ 遊歩道の安全管理



<https://drfc-ob.com/wp/archives/5841>より



インバウンドが増え、収入だけでなく、外国人との交流にもつながる。
自然との距離が今よりさらに近くなる。⇒自然の良さを知るきっかけに

8.大沼の良さを発信

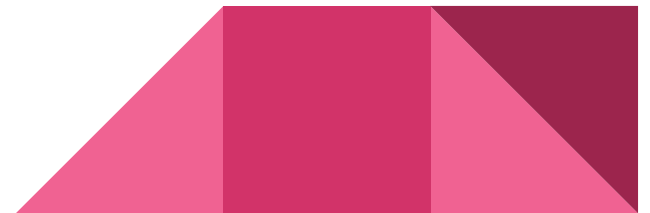
七飯町民でも大沼の魅力を知っている人は少ない。



トルナーレなどを活用し町民のイベントを開催。



大沼や自然の良さを知ってもらう



町民憲章

- 1 すすんで学び、文化の高い町をつくりましょう。

ご清聴、ありがとうございました。

